

中間検査チェックシートの取り扱いについて（概要）

- ◆検査申請時に添付するシートは、原則としてA表＋B表に建築物の構造に応じたC 1～5表を添付する。ただし平屋の建築物で指定工程が基礎工程のみである場合には、A表＋B表のみの添付とする。
- ◆指定工程が2回（R C造等）の場合は、基礎工程の検査申請時にA表＋B表を添付し、上部工程の検査申請時にはC 3～5表のいずれかのみ添付する。
- ◆S R C造については、上部工程の検査申請時にはC 3，C 4表の両方を添付する。
- ◆混構造の場合の検査工程については、主たる構造の指定内容に従うが、チェックシートについてはC 1表～5表のうち、混在する各構造に応じたすべてのシートを添付する。

中間検査チェックシートA表
(集団規定)

				確認済証番号	第R	確認建築滋建住	号
				確認済年月日	令和	年	月 日
検査項目		照 合 内 容		工 事 監 理 者	検 査 記 録		
					A:目視検査 B:実測検査 C:監理者報告	結果	修正
1	確認の表示 (法第89条)	ア	表示の有無、表示内容の適否		A:B:C	適・否	
2	敷地の安全性 (法第19条)	ア	がけ、擁壁の安全性		A:B:C	適・否	
3	敷地と道路 との関係 (法第42条 及び43条)	ア	道路の幅員		A:B:C	適・否	
		イ	道路に接する敷地の長さ		A:B:C	適・否	
		ウ	法第42条第2項道路の後退		A:B:C	適・否	
		エ	法第43条許可との整合		A:B:C	適・否	
4	敷地形状及び 建物配置等 (法第52～ 54条の2)	ア	敷地の形状等(敷地の形・境界ポイント及び高低差等)		A:B:C	適・否	
		イ	建物の配置(道路・隣地境界からの寸法距離)		A:B:C	適・否	
		ウ	既存建物の有無(建ぺい率、容積率等)		A:B:C	適・否	
5	斜線制限 (法第56条、 56条の2)	ア	建築確認図書の立面図、断面図との整合		A:B:C	適・否	
		イ	道路からの後退距離等 (道路との高低差、緩和範囲内の門・塀等の高さ等)		A:B:C	適・否	
		ウ	隣地からの後退距離		A:B:C	適・否	
		エ	北側敷地との高低差、配置寸法等		A:B:C	適・否	
6	工事現場の 危害防止 (法第90条)	ア	仮囲い等の設置状況		A:B:C	適・否	
		イ	危害防止措置(根切りによる転倒防止等)		A:B:C	適・否	
		ウ	その他		A:B:C	適・否	
7	その他	ア			A:B:C	適・否	
		イ			A:B:C	適・否	
※ 工事監理者は、工事監理者欄に検査結果の適否を記入し、中間検査申請書と同時に提出すること。 なお、否の場合は、それに対する措置等を下記に記入のこと。							
工事監理者への 指摘事項等		中間検査	合格 ・ 不合格 ・ 合格保 留	後続工程	可 ・ 不可	工事監理者名(検査立会者)	

中間検査チェックシートB表（基礎工程）

検査項目		照 合 内 容		工 事 監 理 者	検 査 記 録		
					A：目視検査 B：実測検査 C：監理者報告	結果	修正
1	基礎概要	ア	種別の確認(独立、連続、ベタ、杭、地盤改良等)		A：B：C	適・否	
		イ	支持地盤の確認		A：B：C	適・否	
2	使用材料	ア	鋼材の種類		A：B：C	適・否	
		イ	コンクリートの種類、配合		A：B：C	適・否	
3※	基本構造体の確認	ア	形状・寸法		A：B：C	適・否	
		イ	鉄筋の径、本数、配置等		A：B：C	適・否	
		ウ	継ぎ手の位置、定着長さ等		A：B：C	適・否	
		エ	かぶり厚		A：B：C	適・否	
		オ	耐圧版の厚さ		A：B：C	適・否	
4※	基礎構造体の確認	ア	全体形状及び部材配置		A：B：C	適・否	
					A：B：C	適・否	
		イ	ベース		A：B：C	適・否	
					A：B：C	適・否	
					A：B：C	適・否	
		ウ	耐圧版		A：B：C	適・否	
					A：B：C	適・否	
					A：B：C	適・否	
		エ	柱		A：B：C	適・否	
					A：B：C	適・否	
					A：B：C	適・否	
					A：B：C	適・否	
					A：B：C	適・否	
		オ	地中梁		A：B：C	適・否	
					A：B：C	適・否	
					A：B：C	適・否	
					A：B：C	適・否	
					A：B：C	適・否	
					A：B：C	適・否	
					A：B：C	適・否	
		カ	圧接継手		A：B：C	適・否	
					A：B：C	適・否	
		キ	型 枠		A：B：C	適・否	
					A：B：C	適・否	
					A：B：C	適・否	
		ク	その他		A：B：C	適・否	
					A：B：C	適・否	
					A：B：C	適・否	

5	杭 基 礎	ア	杭芯位置の確認		A : B : C	適・否	
		イ	杭の種別、径、長さ、本数等		A : B : C	適・否	
		ウ	継手の溶接状況		A : B : C	適・否	
		エ	杭頭のレベル、偏芯等の確認		A : B : C	適・否	
		オ	杭周充填液等の配合、強度試験		A : B : C	適・否	
		カ	場所打ち杭の掘削孔径、深さ等		A : B : C	適・否	
		キ	場所打ち杭のかご鉄筋の仕様		A : B : C	適・否	
		ク	場所打ち杭のコンクリートの配合、強度等		A : B : C	適・否	
		ケ	支持層到達の確認		A : B : C	適・否	
		コ	杭芯ずれによる補強筋の追加		A : B : C	適・否	
6	地盤改良工事	ア	施工範囲、改良厚等		A : B : C	適・否	
		イ	改良剤の添加量		A : B : C	適・否	
		ウ	埋戻し、転圧状況		A : B : C	適・否	
		エ	改良地盤耐力の確認		A : B : C	適・否	
7	地業工事等	ア	栗石、砕石等の敷き均し・転圧		A : B : C	適・否	
		イ	埋戻し土の転圧		A : B : C	適・否	
8	その他	ア			A : B : C	適・否	
		イ			A : B : C	適・否	
		ウ			A : B : C	適・否	
		エ			A : B : C	適・否	
		オ			A : B : C	適・否	
		カ			A : B : C	適・否	
		キ			A : B : C	適・否	
		ク			A : B : C	適・否	

※ 工事監理者は、工事監理者欄に検査結果の適否を記入し、中間検査申請書と同時に提出すること。
 なお、否の場合は、それに対する措置等を下記に記入のこと。

工事監理者への 指摘事項	中間検査	合格・不合格・合格保留	後続工程	可・不可	工事監理者名（検査立会者）

※ 鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造及びプレキャスト鉄筋コンクリート造の建築物については、基礎構造体の確認欄は4に記入することとし、3は記入不要とする。
 補強コンクリートブロック造及び組積造については、基礎構造体の確認欄は3に記入することとする
 が必要に応じて4欄の該当項目についても記入すること。

中間検査チェックシート C 1 表（木造軸組構造）

検査項目		照 合 内 容		工事 監 理 者	検 査 記 録			
					A：目視検査 B：実測検査 C：監理者報告	結果	修正	
1	全体形状 及び 部材の配置	ア	建築物の形状		A：B：C	適・否		
		イ	柱の配置		A：B：C	適・否		
		ウ	耐力壁の配置		A：B：C	適・否		
		エ	小屋組の形状		A：B：C	適・否		
2	基 礎	ア	床下換気口等の設置		A：B：C	適・否		
		イ	構造体のひび割れの有無		A：B：C	適・否		
3	土 台	ア	部材の形状・寸法		A：B：C	適・否		
		イ	アンカーボルトの据付及び緊結状況		A：B：C	適・否		
		ウ	火打ち材の設置		A：B：C	適・否		
4	柱	ア	部材の形状・寸法		A：B：C	適・否		
		イ	通し柱の設置		A：B：C	適・否		
		ウ	接合金物の設置		A：B：C	適・否		
		エ	部材の緊結		A：B：C	適・否		
5	横架材	ア	部材の形状・寸法		A：B：C	適・否		
		イ	部材下部中央の欠き込み禁止		A：B：C	適・否		
		ウ	部材の緊結		A：B：C	適・否		
6	耐力壁		部材の形状・寸法		A：B：C	適・否		
		ア	筋交い	補強金物の取り付け		A：B：C	適・否	
				欠き込み禁止		A：B：C	適・否	
			イ	壁 材	板材の厚さ		A：B：C	適・否
		壁材の釘留め状況				A：B：C	適・否	
7	床 組	ア	大引、根太の形状・寸法		A：B：C	適・否		
		イ	火打ち材		A：B：C	適・否		
		ウ	剛性床		A：B：C	適・否		
8	小屋組	ア	母屋、垂木の形状、寸法、部材の緊結等		A：B：C	適・否		
		イ	振れ止め		A：B：C	適・否		
9	その他	ア	地盤面からの床高さ		A：B：C	適・否		
		イ	防腐、防蟻措置		A：B：C	適・否		
		ウ			A：B：C	適・否		
※工事監理者は、工事監理者欄に検査結果の適否を記入し、中間検査申請書と同時に提出すること。 なお、否の場合は、それに対する措置等を下記に記入のこと。								
工事監理者への 指摘事項等	中間検査	合格・不合格・合格保留		後続工程	可 ・ 不可	工事監理者名（検査立会者）		

中間検査チェックシート C2 (木造枠組壁構造)

検査項目		照 合 内 容	工事 監 理 者	検 査 記 録		
				A：目視検査 B：実測検査 C：監理者報告	結果	修正
1	全体形状及び 部材の配置	ア 建築物の形状		A：B：C	適・否	
		イ 柱の配置		A：B：C	適・否	
		ウ 耐力壁の配置		A：B：C	適・否	
		エ 小屋組の形状		A：B：C	適・否	
2	使用材料	ア 木材、合板の種類		A：B：C	適・否	
		イ 緊結金物		A：B：C	適・否	
3	基 礎	ア 床下換気口等の設置		A：B：C	適・否	
		イ 構造体のひび割れの有無		A：B：C	適・否	
4	土 台	ア 部材の形状・寸法		A：B：C	適・否	
		イ アンカーボルトの据付及び緊結状況		A：B：C	適・否	
5	床 構 面	ア 根太の形状、寸法、配置		A：B：C	適・否	
		イ 開口部の補強		A：B：C	適・否	
		ウ 耐力壁下根太補強		A：B：C	適・否	
		エ 転び止め		A：B：C	適・否	
		オ 床材の釘留め		A：B：C	適・否	
6	耐 力 壁	ア たて枠の配置		A：B：C	適・否	
		イ 隅角部、交差部の補強		A：B：C	適・否	
		ウ 頭つなぎ		A：B：C	適・否	
		エ まぐさ、まぐさ受け		A：B：C	適・否	
		オ 壁材の釘留め		A：B：C	適・否	
		カ ホールダウン金物の取付け		A：B：C	適・否	
7	小 屋 組	ア 垂木の形状、寸法		A：B：C	適・否	
		イ 垂木つなぎ		A：B：C	適・否	
		ウ 垂木、トラスの緊結		A：B：C	適・否	
		エ 振れ止め		A：B：C	適・否	
8	そ の 他	ア 地盤面からの床高さ		A：B：C	適・否	
		イ 防腐、防蟻措置		A：B：C	適・否	
		ウ		A：B：C	適・否	
※工事監理者は、工事監理者欄に検査結果の適否を記入し、中間検査申請書と同時に提出すること。 なお、否の場合は、それに対する措置等を下記に記入のこと。						
工事監理者への 指摘事項等	中間検査	合格・不合格・合格保留	後続工程	可・不可	工事監理者名（検査立会者）	

中間検査チェックシートC3（鉄骨造・鉄骨鉄筋コンクリート造）

検査項目		照 合 内 容		工 事 監 理 者	検 本 記 録		
					A：目視検査 B：実測検査 C：監理者報告	結果	修正
1	全体形状 及び 部材の配置	ア	建築物の形状		A：B：C	適・否	
		イ	建方の精度		A：B：C	適・否	
		ウ	柱、梁の配置		A：B：C	適・否	
		エ	垂直、水平ブレースの配置		A：B：C	適・否	
		オ	剛性床の配置		A：B：C	適・否	
2	使用材料	ア	鋼材の種類		A：B：C	適・否	
		イ	高力ボルトの規格		A：B：C	適・否	
3	柱	ア	部材の形状、寸法		A：B：C	適・否	
		イ	溶接箇所の外観		A：B：C	適・否	
		ウ	ベースプレート寸法、モルタル充填等		A：B：C	適・否	
		エ	アンカーボルトの径、本数、締付け状況等		A：B：C	適・否	
		オ	露出型固定柱脚のチェックシート		A：B：C	適・否	
4	大 梁	ア	部材の形状、寸法		A：B：C	適・否	
		イ	ボルトの種類、径、本数、締付け状況等		A：B：C	適・否	
		ウ	溶接箇所外観		A：B：C	適・否	
5	小 梁	ア	部材の形状、寸法		A：B：C	適・否	
		イ	ボルトの種類、径、本数、締付け状況等		A：B：C	適・否	
		ウ	溶接箇所の外観		A：B：C	適・否	
6	柱・梁の仕口	ア	溶接箇所の外観		A：B：C	適・否	
7	床	ア	部材の形状、寸法		A：B：C	適・否	
		イ	梁との接合方法		A：B：C	適・否	
8	ブレース	ア	部材の形状、寸法及び位置		A：B：C	適・否	
		イ	取付け方法		A：B：C	適・否	
9	その他	ア	防錆処理		A：B：C	適・否	
		イ	溶接部分の非破壊試験		A：B：C	適・否	
		ウ	梁貫通孔の補強		A：B：C	適・否	
		エ			A：B：C	適・否	
※工事監理者は、工事監理者欄に検査結果の適否を記入し、中間検査申請書と同時に提出すること。 なお、否の場合は、それに対する措置等を下記に記入のこと。							
工事監理者への 指摘事項等		中間検査	合格・不合格・合格保留	後続工程	可、不可	工事監理者名（検査立会者）	

中間検査チェックシートC4（鉄筋コンクリート造・鉄骨鉄筋コンクリート造）

検査項目	照 合 内 容	工 事 監 理 者	検 査 記 録						
			A：目視検査 B：実測検査 C：監理者報告	結果	修正				
1	全体形状及び 部材の配置	ア	建築物の平面形状	A：B：C	適・否				
		イ	柱、梁の配置	A：B：C	適・否				
2	使用材料	ア	鋼材の種類	A：B：C	適・否				
3	柱	ア	部材の形状・寸法	A：B：C	適・否				
		イ	主筋の径、本数、配置	A：B：C	適・否				
		ウ	継手位置、定着長さ、フック	A：B：C	適・否				
		エ	帯筋の径、配置等	A：B：C	適・否				
		オ	かぶり厚	A：B：C	適・否				
4	大 梁	ア	部材の形状・寸法	A：B：C	適・否				
		イ	主筋の径、本数、配置、中吊り筋（2段筋）の位置	A：B：C	適・否				
		ウ	継手位置、定着長さ、フック	A：B：C	適・否				
		エ	あばら筋及び幅止め筋の径、配置等	A：B：C	適・否				
		オ	貫通孔の補強筋	A：B：C	適・否				
		カ	かぶり厚	A：B：C	適・否				
5	壁	ア	部材の形状・寸法	A：B：C	適・否				
		イ	主筋の径、配置等	A：B：C	適・否				
		ウ	継ぎ手位置、定着長さ、フック	A：B：C	適・否				
		エ	開口部の補強筋及び幅止め筋の径、配置等	A：B：C	適・否				
		オ	かぶり厚	A：B：C	適・否				
6	床・階段	ア	部材の形状・寸法	A：B：C	適・否				
		イ	主筋及び配力筋の径、配置	A：B：C	適・否				
		ウ	継手位置、定着長さ、フック	A：B：C	適・否				
		エ	開口部の補強筋	A：B：C	適・否				
		オ	かぶり厚	A：B：C	適・否				
7	圧接継手	ア	継手の位置	A：B：C	適・否				
		イ	圧接部の外観、ふくらみ	A：B：C	適・否				
8	型 枠	ア	各部分の寸法	A：B：C	適・否				
		イ	せき板、支保工等の設置状況	A：B：C	適・否				
		ウ	型枠内の清掃、異物の除去	A：B：C	適・否				
9	その他	ア	差し筋の設置状況	A：B：C	適・否				
		イ		A：B：C	適・否				
※工事監理者は、工事監理者欄に検査結果の適否を記入し、中間検査申請書と同時に提出すること。 なお、否の場合は、それに対する措置等を下記に記入のこと。									
工事監理者への 指摘事項等	中間検査	合格・不合格・合格保留	後続工程	可・不可	工事監理者名（検査立会者）				

中間検査チェックシートC5表（プレキャスト鉄筋コンクリート造）

検査項目		照 合 内 容		工事 監 理 者	検 査 記 録			
					A : 目視検査 B : 実測検査 C : 監理者報告	結果	修正	
1	全体形状及び部材の配置	ア	建築物の平面形状		A : B : C	適・否		
		イ	プレキャストの配置		A : B : C	適・否		
2	プレキャスト部材	ア	部材の形状・寸法		A : B : C	適・否		
		イ	製作材料の品質		A : B : C	適・否		
		ウ	鉄筋、型枠の加工、組み立て		A : B : C	適・否		
		エ	コンクリートの打設状況		A : B : C	適・否		
		オ	養生、脱型及びひび割れ防止対策等		A : B : C	適・否		
		カ	コンクリートの所要強度		A : B : C	適・否		
		キ	プレストレスの導入		A : B : C	適・否		
		ク	製品出荷時の品質確認検査		A : B : C	適・否		
3	組立・建て方	ア	組立・建て方の精度		A : B : C	適・否		
		イ	接合部の仕様、接合状況		A : B : C	適・否		
		ウ	継手部分の検査		A : B : C	適・否		
		エ	ひび割れ破損の有無		A : B : C	適・否		
4	現場施工部分	ア	鉄 筋	部材の形状寸法		A : B : C	適・否	
				鉄筋の径、配置等		A : B : C	適・否	
				継手位置、定着長さ、フック等		A : B : C	適・否	
				かぶり厚さ		A : B : C	適・否	
		イ	型 枠	各部の寸法		A : B : C	適・否	
				せき板、支保工の等の設置状況		A : B : C	適・否	
		型枠内の清掃、異物の除去		A : B : C	適・否			
5	その他	ア			A : B : C	適・否		
		イ			A : B : C	適・否		
		ウ			A : B : C	適・否		
		エ			A : B : C	適・否		
		オ			A : B : C	適・否		
		カ			A : B : C	適・否		
※工事監理者は、工事監理者欄に検査結果の適否を記入し、中間検査申請書と同時に提出すること。 なお、否の場合は、それに対する措置等を下記に記入のこと。								
工事監理者への指摘事項等		中間検査	合格・不合格・合格保留	後続工程	可・不可	工事監理者名（検査立会者）		